

飯能県土整備（土木）事務所の歩み（1964年～）

年度	主な事務所の事業など	主なできごと
昭和39年度 (1964)	埼玉県飯能土木事務所開所（11月1日）	東海道新幹線開業（10月1日） 東京五輪（10月10～24日）
昭和40年度 (1965)	＜県内国道舗装率 28.8%＞ 毛呂川橋（川越越生線毛呂山町～越生町）の架替工事完成（12月）	年間交通事故死者数全国 12,484 人 県人口 300 万人突破
昭和41年度	熊谷入間線（現国道 407 号）坂戸鶴ヶ島バイパス用地買収着手 事務所棟（RC 2 階建）が完成（42 年 3 月）	飯能市で公共下水道供用（4 月） 台風 26 号、住家被災が大（9 月） 入間市市制施行（11 月 1 日）
昭和42年度	万年橋（川越越生線坂戸市萱方、高麗川）架替工事完成(43 年 3 月) 交通事故が急増し、歩道や横断歩道橋などの整備が本格化	西武町が入間市に合併（4 月 1 日） 埼玉国体（10 月）
昭和43年度	川越秩父線の八高線踏切除去工事（日高陸橋）の用地買収に着手 飯能土木初の鍵山横断歩道橋（現国道 299 号入間市）が完成（44.3）	東名高速道路が部分開通（4 月）
昭和44年度	有間ダムの実施計画調査に入る 国道 299 号（飯能～入間）用地買収に着手 岩根橋（青梅飯能線飯能市、入間川）架替工事が完成(11 月) 川越秩父線が国道 299 号に昇格（12 月 4 日）	西武秩父線（吾野～西武秩父）が 開業（10 月 14 日） 国道 16 号武蔵バイパス開通(8 月)
昭和45年度 (1970)	＜国県道舗装率 55.4%＞ 熊谷入間線坂戸鶴ヶ島バイパス工事に着手	大阪万博、「交通戦争」 年間交通死者数が最高の 16,765 人
昭和46年度	下名栗青梅線（現青梅秩父線：小沢トンネル）隧道工事に着手 川越秩父線踏切除却工事（日高陸橋）完成（47 年 3 月） 落石等危険箇所総点検を実施、災害防除工事が本格化	札幌冬季五輪（47 年 2 月） ニクソン・ショック
昭和47年度	有間ダム建設事業に着手（ロックフィルダム） 高倉黒須新道（県道富岡入間線）街路改良工事が完成	
昭和48年度	熊谷入間線（坂戸鶴ヶ島バイパス）暫定 2 車線で供用開始（5 月） コンクリート舗装を施工	第 1 次石油ショック
昭和49年度	小沢トンネル（延長 475m）が開通（8 月）	台風 16 号による荒川流域洪水（刈場 坂峠 総雨量 495mm）
昭和50年度 (1975)	＜国県道舗装率 78.0%＞ 有間ダムの補償基準が妥結（10 月） 新豊水橋、入間川高架橋(国道 299 号)上り線完成	関越道(川越～東松山)開通（8 月） 交通事故死者数 10,792 人
昭和51年度		坂戸市市制施行（9 月 1 日）
昭和52年度	日高・鶴ヶ島日光街道杉並木の歩道整備工事（～53 年度）、全建賞	県人口 500 万人突破
昭和53年度	天神橋（牛ヶ谷戸南戸守坂戸線（現日高川島線）、越辺川の冠水橋） 架替工事が完成し供用開始（54 年 3 月）	宮城県沖地震（6 月）
昭和54年度	国道 299 号バイパス新豊水橋が完成、笹井～仏子（富岡入間線接 続）が暫定 2 車線で供用開始（8 月） 国道 299 号正丸トンネルの工事に着手（12 月） 有間ダムの本体工事に着手（12 月） 橋りょう震災点検を実施、耐震補強工事が本格化	
昭和55年度 (1980)	国道 299 号バイパスと国道 16 号との接続工事完成、入間市仏子～ 小谷田が供用開始（8 月） ＜国県道舗装率 92.0%＞	交通事故死者数 8,760 人
昭和56年度	正丸トンネル貫通式（4 月 25 日） 熊谷入間線が国道 407 号に昇格（4 月 30 日） 国道 299 号飯能狭山バイパスの事業に着手（4 月）	

昭和57年度	葛川放水路（毛呂山町～坂戸市）の建設事業に着手 越辺川（越生町）、小畔川（日高市）の改修事業に着手 正丸トンネル（延長1,918m）が完成（11月20日供用開始） 日高狭山線改良工事（日高市上鹿山～下川崎）が完成（58年3月）	台風18号により荒川流域洪水（名栗総雨量348mm） 長崎豪雨災害（7月）
昭和58年度	大柵砂防事務所閉所により砂防事業が加わる。	島根県土砂災害（7月）
昭和59年度	有間ダム試験湛水開始（10月）	
昭和60年度 (1985)	飯能寄居線バイパス（毛呂山町長瀬工区）完成（4月） 有間ダムが完成（61年3月） 高麗川大橋（川越坂戸毛呂山線坂戸市）の架替完成（61年3月）	川越線電化（9月） 交通事故死者数7,261人
昭和61年度	国道407号坂戸鶴ヶ島バイパスが4車線化（12月） 所沢入間線バイパス（16号～宮寺川越線）が暫定供用（62年3月）	バブル景気
昭和62年度	青梅飯能線下畑バイパスが完成（12月供用開始） 畑トンネル（明治43年）が役割を終える。	県人口600万人突破
昭和63年度	事務所増築工事（63～元年度）	さいたま博覧会が開幕
平成元年度	急傾斜地対策工事 飯能市「南町地区」が完成	圏央道着工 消費税実施3%
平成2年度 (1990)	<国県道舗装率95.0%> 赤坂沢砂防堰堤（越生町）が完成（3年3月）	交通事故死者数9,066人
平成3年度	不老川の大森調節池（入間市）の工事着手 葛川の改修工事（住宅関連／坂戸下流部）が完成（4年3月） 新豊水橋（国道299号）下り線完成	鶴ヶ島市市制施行（9月1日） 日高市市制施行（10月1日） バブル崩壊
平成4年度	入間川高架橋（国道299号）下り線完成	
平成5年度	所沢入間線が国道463号に昇格（4月1日） 飯能停車場線の電線類地中化工事が完成（6年3月）	
平成6年度	飯盛川の改修事業に着手（坂戸市） 飯能寄居線バイパス（越生工区）完成（7月供用開始） 国道299号飯能狭山バイパス（入間市新光～笹井、1.6km）完成・ 国道299号バイパス（笹井～国道16号）が4車線化（8月供用） 国道299号飯能狭山バイパス（馬引沢飯能線～新光）（7年2月供用）	阪神・淡路大震災（7年1月17日）
平成7年度 (1995)	<国県道舗装率96.3%> 新川越坂戸毛呂山線街路整備工事完成（国道～日高川島）（8年3月） 国道463号バイパス（国道16号以南）が4車線化（3月）	圏央道（青梅～鶴ヶ島）開通 八高線（八王子～高麗川）電化（8年3月） 事故死者数10,679人
平成8年度	国道299号飯能狭山バイパス（馬引沢飯能線～飯能寄居線飯能市下加治）と飯能寄居線下加治高架橋が完成（11月供用開始） 蕨入（飯能市）でコンクリートスリット砂防堰堤が完成（11月） 桂木川（毛呂山町）の溪流砂防工事が完成	
平成9年度	国道299号吾野バイパス完成（10年2月供用開始）	長野冬季五輪（10年2月） 消費税5%に
平成10年度	彩の森入間公園開設（4月）	
平成11年度	高畑川（飯能市）で鋼製格子を使った砂防堰堤が完成（11年6月） 飯能寄居線バイパス（高麗川・猿田工区）が完成（11月供用開始） 加治橋（二本木飯能線飯能市）の架換工事が完成（12年2月）	熱帯低気圧により荒川流域洪水 8月豪雨で飯盛川などが氾濫、西武秩父線吾野駅が土砂に埋まる
平成12年度 (2000)	<国県道舗装率99.2%> 不老川上流浄化施設が稼働（4月）	交通事故死者数9,066人 「さいたま新都心」街びらき

平成13年度	川越坂戸毛呂山線バイパス（坂戸市入西・戸口工区）完成 （5月供用開始）	
平成14年度	豊水橋（国道299号）の架替工事が完成（15年2月） 国道407号日高バイパス（川越日高線以南）供用開始（15年3月） 飯能寄居線バイパス（毛呂山町岩井工区）供用開始（15年3月） 新四海橋（青梅秩父線バイパス、名栗村）が完成（15年3月）	県人口700万人突破
平成15年度	飯能県土整備事務所に改称（4月1日）	
平成16年度	氷川橋（日高川島線坂戸市石井、飯盛川）の架替工事完成（12月） 土砂災害防止法に基づく基礎調査に着手	彩の国まごころ国体（9～10月） 新潟中越地震（10月） 名栗村が飯能市に合併（17年1月）
平成17年度 (2005)	<国県道舗装率99.2%> 飯盛川排水機場が完成（7月） 管内初の「土砂災害警戒区域」に飯能市岩井沢地区を指定（12月） 武蔵中央通線（入間市停車場線）街路整備工事が完成（12月） 国道299号飯能狭山バイパス中山陸橋（飯能市）が完成し、5.6kmのバイパスが全線開通（18年3月） 天神橋（川越日高線日高市、巾着田）の架替工事完成（18年3月）	交通事故死者数6,871人 日本の総人口初の減少
平成18年度	飯能下名栗線赤沢バイパスが完成（19年2月） 急傾斜地対策事業 飯能市「川寺地区」が完成（19年3月）	
平成19年度	鹿台橋（川越日高線、巾着田）の架替工事が完成（20年3月） 圏央道坂戸IC接続道路（上井草坂戸線）が完成（20年3月） 長瀬跨線橋（飯能寄居線、JR八高線）が完成（20年3月）	台風9号により荒川流域洪水 圏央道（鶴ヶ島～川島）開通（20年3月）
平成20年度	南小畔川（国道407号下流）の改修工事が完了（5月） 飯能下名栗線小沢工区が完成し青梅秩父線BPと直結（21年3月） 入間川（入間市鍵山、狭山市笹井）は「ふるさとふれあい河川整備事業」から「水辺再生100プラン」へ移行（4月）	交通事故死者数5,155人 リーマン・ショック
平成21年度	葛川放水路（葛川～高麗川）が完成（7月） 下狭山宮寺線の歩道整備工事（1070m）が完成（22年2月） 水辺再生100プラン入間川（飯能河原）、高麗川（巾着田）の工事着手（22年2月） 国道407号日高バイパス（1.9km）が全線供用開始（22年3月）	
平成22年度 (2010)	<国県道舗装率99.2%> 水辺再生100プランの新規箇所として入間川（飯能市矢嵐）、越辺川（越生町越生東）	東日本大震災（23年3月11日） 交通事故死者数4,863人
平成23年度	水辺再生100プラン入間川（入間市鍵山、狭山市笹井）、高麗川（巾着田）完成（5月） 水辺再生100プラン入間川（飯能河原）完成（10月） 水辺再生100プラン高麗川（横手）完成（10月） 吾野トンネル本体工事着手（24年1月） 飯能寄居線葛貫工区（2.3km）供用開始（24年2月）	
平成24年度	大橋（国道463号、不老川）の架替工事が完成（6月） 水辺再生100プラン越辺川（越生東）完成（10月） 水辺再生100プラン入間川（矢嵐）完成（25年3月） 吾野トンネル貫通（25年3月） 川角農協前交差点（川越坂戸毛呂山線、川越越生線）右折レーン完成（25年3月）	

平成25年度	有間ダム原石山斜面崩落（2の山）（8月23日） 川のまるごと再生プロジェクトに越辺川（毛呂山町・越生町）、高麗川（坂戸市、日高市）が選定される。 「交差点安心・安全39プラン」日高川島線（坂戸市赤尾）右折レーンが完成（10月） 正丸トンネル照明LED化（26年3月） 青梅秩父線（山下工区）L=90m 工事着手（26年2月）	坂戸スマートIC開通（8月25日）
平成26年度	急傾斜地崩壊対策工事 飯能市「上名栗西地区」（延長101m）が完成（10月） 川のまるごと再生プロジェクト越辺川（毛呂山町・越生町）、高麗川（坂戸市）、高麗川（日高市）の着手式（11月） 国道407号鶴ヶ島日高バイパス工事着手（12月） 吾野トンネル（延長567m）が完成（27年3月7日） 国道299号久保工区（延長0.9km）が完成（27年3月）	飯能県土開所50周年 消費税8%に 広島県土砂災害（8月）
平成27年度 (2015)	土砂災害防止法に基づく法指定数1165箇所(89.1%)(4月1日現在) 砂防事業（黒岩）工事着手	圏央道県内完成（10月31日） 関東・東北豪雨（9月）鬼怒川決壊 交通事故死者数 4,117人
平成28年度	一本松交差点（川越越生線）右折避讓帯完成（12月） 国道299号新豊水橋、入間川高架橋耐震補強工事完成（29年3月） 川のまるごと再生プロジェクト越辺川（毛呂山町・越生町）完成式（29年3月） 川のまるごと再生プロジェクト高麗川（日高市）完成（29年3月） 台風9号による災害復旧工事12箇所（入間市、日高市、坂戸市） 川の国埼玉はつらつプロジェクト採択（飯能市11月、日高市・越生町3月、） 小畔川 王神橋建設工事に着手（11月） 小畔川 相原橋が完成（12月）	台風9号（8月22日） 入間市狭山市で浸水被害発生。3時間雨量200mm超、床上浸水181戸、床下浸水574戸。 台風9号により坂戸市片柳地区で床上浸水1戸、床下浸水61件発生。 熊本地震（4月14日）最大震度7 交通事故死者数 3,904人
平成29年度	土砂災害防止法に基づく法指定数1305箇所(100%)(4月7日公告) 国道299号台飯能工区（延長1.5km）が完成（7月） 台風21号による災害復旧工事2箇所（飯能市・越生町） 不老川緊急治水対策事業着手（H29～H34）	交通事故死者数 3,694人
平成30年度	飯能寄居線バイパス(新堀北平沢工区)(延長2.7km)が完成(12月) 狭山日高I.C(西)交差点(日高狭山線)左折レーンが完成(11月) 小畔川 王神橋が完成(11月)	平成30年7月豪雨（西日本ほか） 北海道胆振東部地震(9月6日)最大震度7

注1) 舗装率は4月1日現在で簡易舗装を含む。(道路統計年報の都道府県別整備状況による)

注2) 交通事故死者数は全国での暦年の12月末の数である。

注3) 記載したものは、資料や時間の制約から管内各地で行われた様々な事業の中の一部である。